

千 曲 市

自転車活用推進計画

令和2年3月

千 曲 市

－ 目 次 －

1. はじめに	1
1－1. 計画策定の背景と目的	1
1－2. 計画区域と計画期間.....	2
1－3. 計画の策定体制.....	2
1－4. 計画の位置づけ.....	3
1－5. 計画の策定過程.....	4
2. 本市の特性と自転車利用環境.....	5
2－1. 本市の概況.....	5
2－2. 自転車利用環境.....	9
2－3. 現状と課題の整理	15
3. 基本目標	16
4. 具体施策	17
4－1. 自転車ネットワーク路線の整備推進	17
4－2. 受入環境の整備.....	21
4－3. 公共交通機関との連携強化	23
4－4. 自転車関連イベントの開催	25
4－5. PR の強化	26
4－6. サイクルツーリズムに関する地域連携の推進	27
5. 推進体制・目標指標.....	28
5－1. 推進体制	28
5－2. 目標指標	28

1. はじめに



1－1．計画策定の背景と目的

◇国では平成 29 年に「自転車活用推進法」が施行され、長野県では平成 31 年に「長野県自転車活用推進計画」が策定されるなど、全国的に多様な自転車の活用が進められている。

◇本計画は、自転車活用推進法に基づき定めるものであり、自転車の活用を推進することで、地域の活性化や市民の生活の質（QOL：Quality of Life^{※1}）の向上を図るものである。

- ・自転車は、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる、環境にも優しい身近な交通手段である。また、その活用は、健康づくり、観光振興や地域活性化にもつながるものであることから、自転車を活かしたまちづくりが注目されている。
- ・国では、平成 24 年 11 月に国土交通省と警察庁が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を策定するなど、自転車を取り巻く環境も大きく変化してきている。さらに、平成 29 年 5 月に「自転車活用推進法」が施行、平成 30 年 6 月には「自転車活用推進計画」が策定され、渋滞緩和や環境保全、健康増進、観光振興など、多様な自転車の活用が求められており、全国的に地方版自転車活用推進計画の策定が進められている。
- ・長野県では、平成 31 年 3 月に「長野県自転車活用推進計画」が策定、「長野県の安全で快適な自転車利用に関する条例」が施行されるなど、県全体として自転車利用環境整備を進める方針が示されている。また、令和元年 6 月に「Japan Alps Cycling プロジェクト」を設立し、オール長野で「サイクルツーリズムの聖地」となることを目指している。
- ・これらの国や長野県の動向を踏まえ、自転車の活用を推進するために「千曲市自転車活用推進計画」を策定する。この計画を策定、実現することで、地域の活性化を図るとともに、市民の生活の質（QOL：Quality of Life）の向上を図るものである。

※1：「QOL：Quality of Life」とは、人生の内容の質や社会的にみた生活の質、どれだけ人間らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているのか、ということを尺度として捉える概念。

1－2．計画区域と計画期間

1) 計画区域

◇本計画の計画区域は、千曲市全域とする。

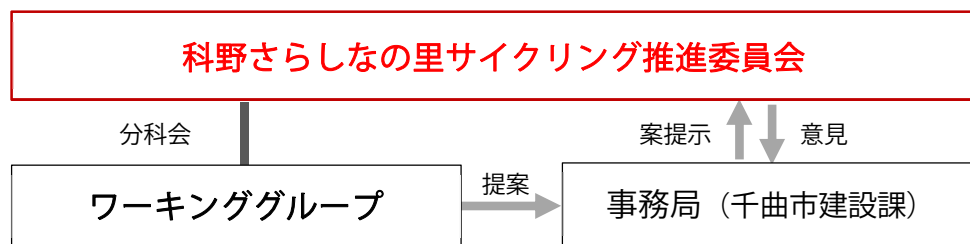
2) 計画期間

◇本市の目指すべき将来像を定めた上位計画である「第二次千曲市総合計画」の計画期間を踏まえ、本計画の計画期間を令和2（2020）年度～令和8（2026）年度の7年間とする。

1－3．計画の策定体制

◇「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」が主体となり計画を策定した。

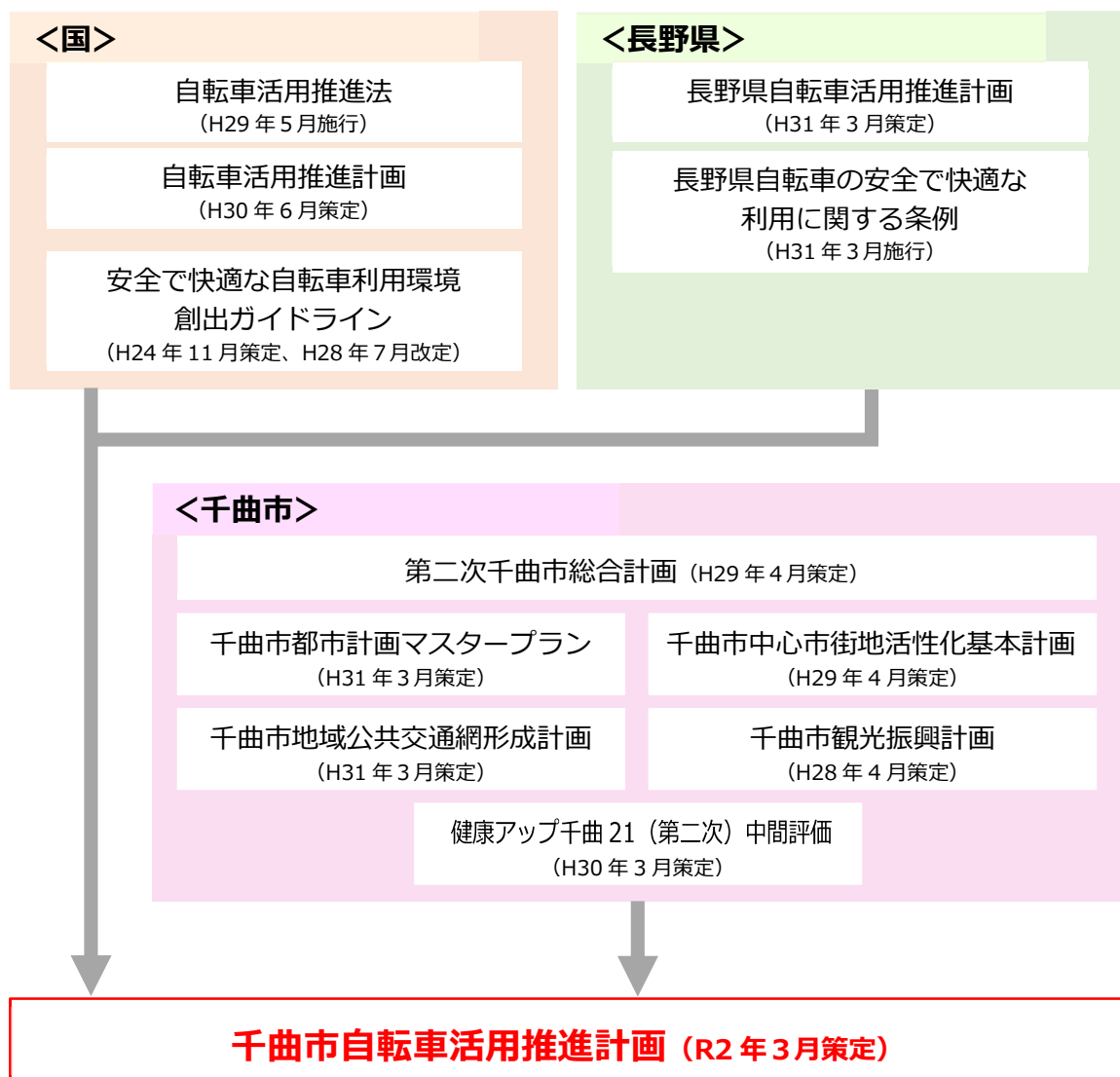
- ・本市では、平成28年8月に戸倉上山田温泉旅館組合や市内外の自転車愛好家、行政機関（長野県千曲建設事務所・千曲市）により構成される「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」を設立し、継続的に、千曲川サイクリングロードを軸としたサイクリング環境の検討、整備を行っている。科野さらしなの里サイクリング推進委員会の委員は、千曲市観光協会（現在の信州千曲観光局）の推薦により選出している。
- ・本計画は、事務局（千曲市建設課）が計画案を作成し、分科会として設置したワーキンググループでの議論や提案を踏まえ、科野さらしなの里サイクリング推進委員会で策定した。



【計画の策定体制】

1-4. 計画の位置づけ

- ◇本計画は、「第二次千曲市総合計画」を上位計画とし、まちづくりや交通、観光、健康、に関する関連計画を踏まえて定める、本市の自転車政策に関する最上位計画として位置づけるものである。
- ◇なお、本計画は、自転車活用推進法第11条第2項に基づく、市町村自転車活用推進計画として定めるものである。



【上位関連計画】

1 - 5. 計画の策定過程

◇本計画の策定過程は下表のとおりである。

【計画の策定過程】

年	月 日	会議・調査名	内容
令和元年 (2019)	8～9月	千曲市のサイクリング環境 に関する実態調査	・推進委員会の委員及び市内サイクリ ストに対するアンケート調査を実施
	11月19日	第28回科野さらしなの里 サイクリング推進委員会	・計画策定の流れ、検討スケジュールに 関する協議
	12月5日	第1回千曲市自転車 ワーキンググループ	・千曲市のサイクリング環境に関する 現状と課題、今後取り組むべき自転車 施策について協議
令和2年 (2020)	1月24日	第2回千曲市自転車 ワーキンググループ	・計画骨子案について協議
	1月28日	第29回科野さらしなの里 サイクリング推進委員会	・計画骨子案について協議
	2月25日	第30回科野さらしなの里 サイクリング推進委員会	・計画素案について協議
	3月19日 ～24日	委員への意見照会	・計画案について報告
	3月末日	計画の策定	—
	4月	計画の公表	—

2. 本市の特性と自転車利用環境

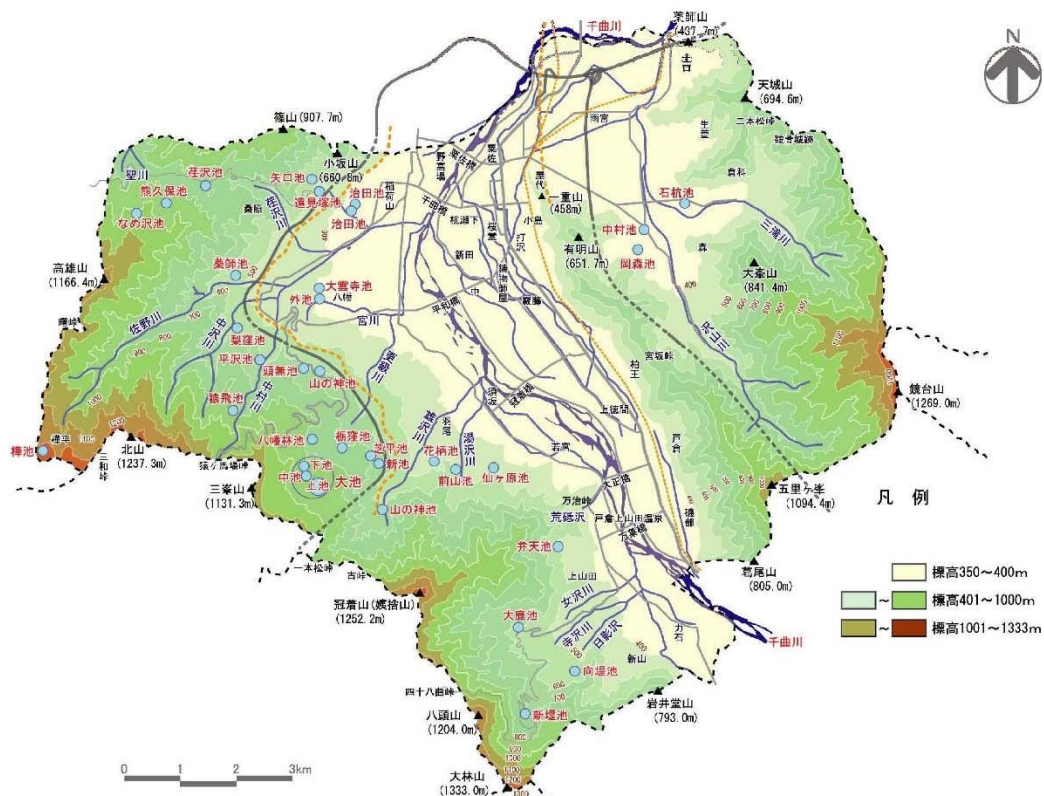


2-1. 本市の概況

1) 地勢

◇本市は、東西約 15km、南北約 14km で面積は 119.84km²。標高の最高地点は、市南端の大林山(1,333m)、最低地点は市北東部の雨宮地区の水田(353m)で、その標高差は 980m である。市の境界はほぼ里山に囲まれ、市の中央を千曲川が南北に貫流している。

総面積	119.84km ² (11,984ha)
最高地	1,333.0m (大林山山頂)
最低地	353.36m (雨宮字起返下ノ割の水田)
主な山	岩井堂山、大林山、八頭山、冠着山、三峯山、北山、高雄山、篠山、薬師山、天城山、鏡台山、五里ヶ峯、葛尾山、大峯山、有明山、一重山
主な川	千曲川、沢山川、三滝川、佐野川、中沢川、中村川、荏沢川、更級川、宮川、雄沢川、湯沢川、荒砥沢川、女沢川、日影沢
主な池	大池（上池、中池、下池）、八幡林池、大雲寺池、荏沢池、治田池、石杭池



【地 勢】 出典：第二次千曲市環境基本計画より

2) 地域資源

◇本市は、古くは「科野の国」の交通・文化の中心地として、平安時代から江戸時代には文人墨客の憧れの地「さらしな」として知られ、国指定の史跡「埴科古墳群森將軍塚古墳」や名勝「姨捨(田毎の月)」・重要文化的景観「姨捨の棚田」、稻荷山重要伝統的建造物群保存地区、城山史跡公園「荒砥城跡」、開湯 120 年を超える「戸倉上山田温泉」などの豊かな歴史文化資源が点在している。その他にも、一目十万本といわれる「あんずの里」のあんずの実や加工品をはじめ、おしぼりうどん、千曲ワインなど、多彩な食文化も有している。



【埴科古墳群森將軍塚古墳】



【重要文化的景観「姨捨の棚田」】

出典：信州千曲観光局より提供



【稻荷山重要伝統的建造物群保存地区】



【城山史跡公園「荒砥城跡」】



【戸倉上山田温泉】

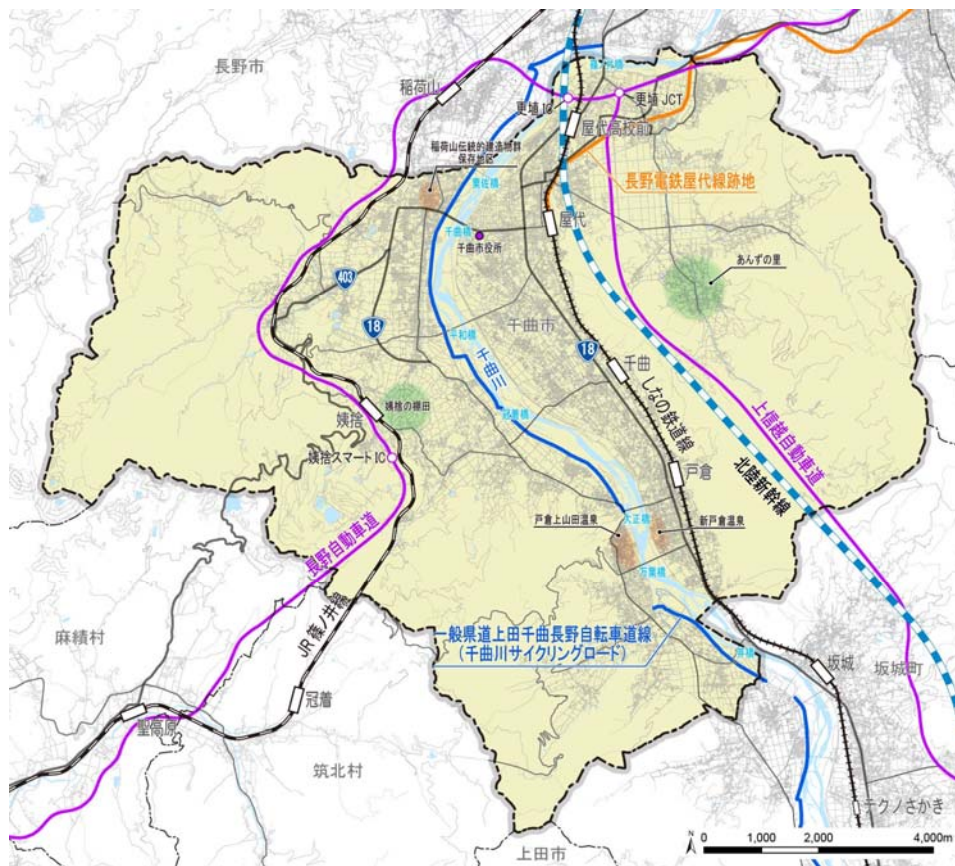


【あんずの里】

出典：信州千曲観光局より提供

3) 交通

◇本市は、盛んな人・物の交流が活力を生み出してきた交通便利性の高い地であり、昔から「交通の要衝」として発展してきた。しなの鉄道しなの鉄道線が市内中心部を南北に運行しており、西部に JR 篠ノ井線が運行している。また、長野自動車道の更埴 IC や姨捨スマート IC があり、広域道路の結節点ともなっている。さらに、千曲川沿いには、長野市や坂城町、上田市を結ぶ一般県道上田千曲長野自転車道線（千曲川サイクリングロード）があり、千曲川や周囲の山々を望みながらサイクリングができる環境が整備されている。一方で、市内の周遊や駅と観光資源を繋ぐ交通が少ない状態である。



【道路網・鉄道網】



【JR 篠ノ井線 姨捨駅】

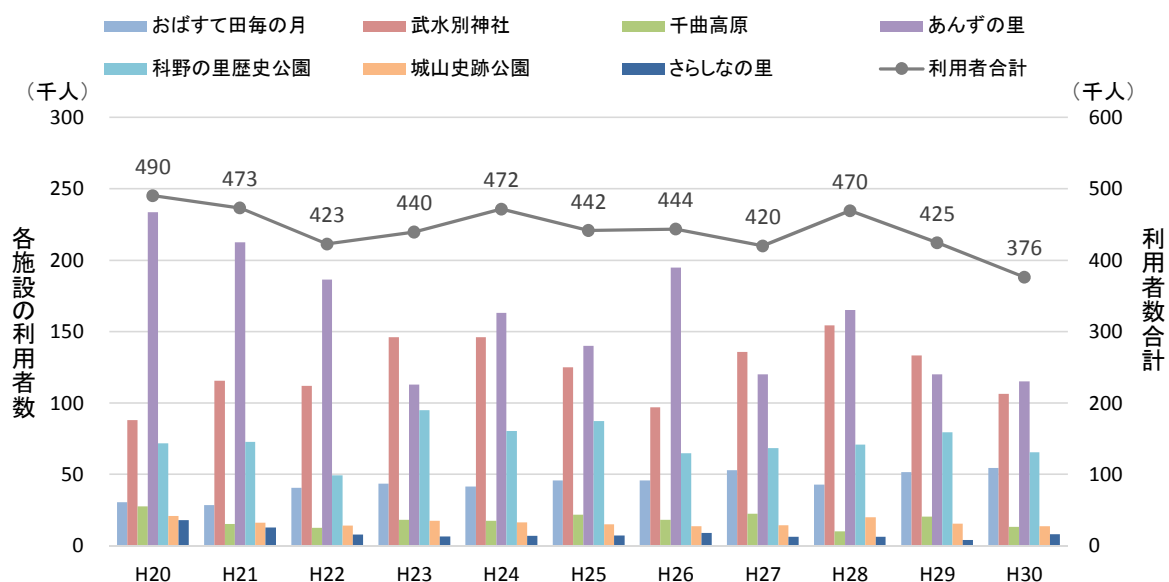


【しなの鉄道 戸倉駅】

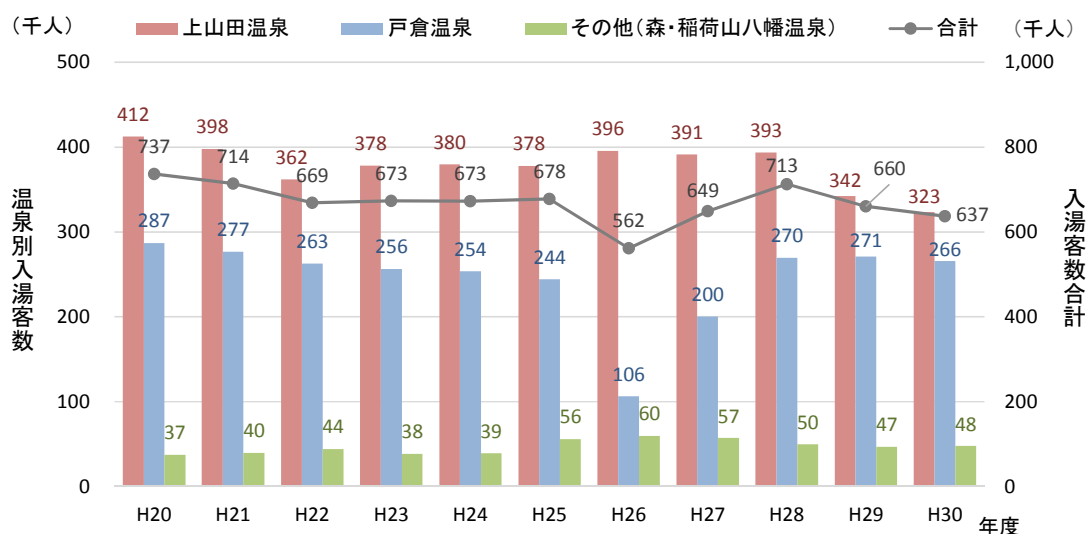
4) 観光動向

◇市内観光施設の合計利用者数は、過去 10 年では 45 万人前後で推移しているものの、平成 30 年は 37.6 万人となり、減少傾向となっている。各施設では、あんずの里、武水別神社の利用者が多く、観光誘客に貢献している。

◇市内温泉の入湯客数は、戸倉温泉において平成 26～27 年度を除き 27 万人前後で推移しているものの、上山田温泉では過去 10 年で約 7 万人減少（平成 21 年度：39.8 万人→平成 30 年度：32.3 万人）している。



【観光施設の利用者数】 出典：千曲市統計書より作成



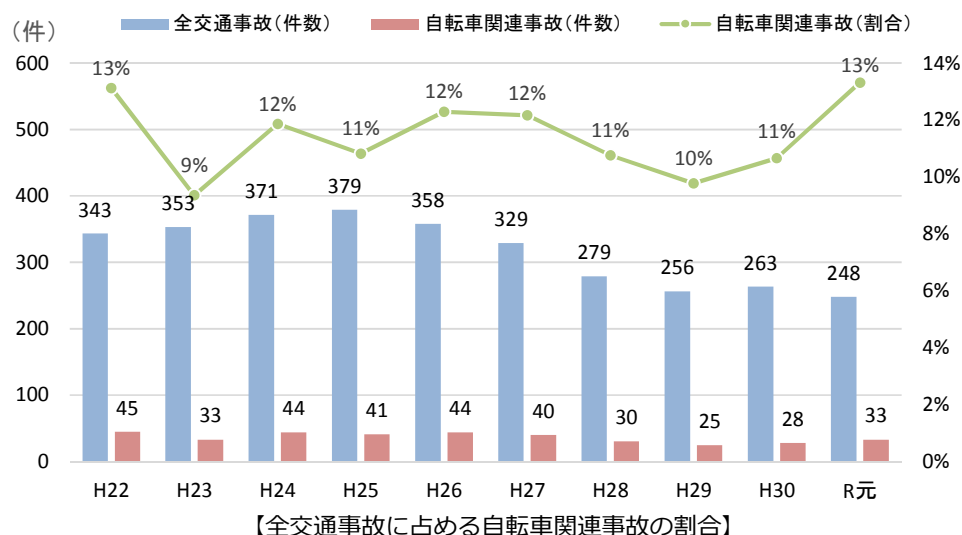
【市内温泉の入湯客数】 出典：千曲市統計書より作成

2-2. 自転車利用環境

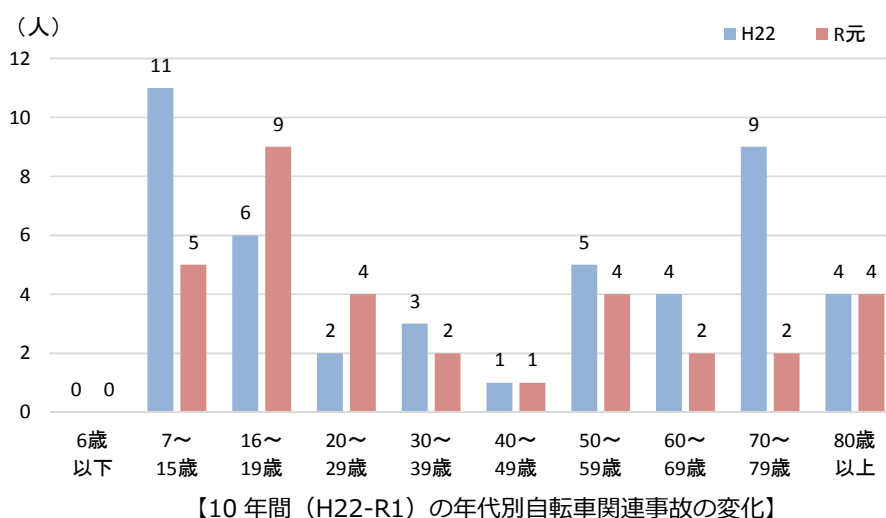
1) 交通事故発生状況

◇本市の自転車関連事故件数は、平成22年から令和元年の10年間で12件減少（45件→33件）しており、全交通事故に占める自転車関連事故の割合は10%前半で推移している。年齢別の自転車関連事故では、「7～15歳」「16～19歳」の事故が多く、10年間で「7～15歳」は6人減少、「16～19歳」は3人増加、「70～79歳」は7人減少している。

◇千曲川サイクリングロードでは、10年間で4件の自転車関連事故（単独事故2件、物損事故2件）が発生している。



出典：千曲警察署提供資料より作成



出典：千曲警察署提供資料より作成

2) サイクリングコースの整備

◇本市の中央を南北に流れる千曲川の堤防沿いには、上田市を起点とし、長野市へ通じる全長23.4kmの一般県道上田千曲長野自転車道線（千曲川サイクリングロード）が整備されている。千曲川サイクリングロードは、長野県が計画する Japan Alps Cycling Road のモデルルートに指定され、サイクリングだけでなく、通勤通学などの日常的な自転車利用でも通行されている。

◇科野さらしなの里サイクリング推進委員会では、千曲川サイクリングロードを軸として、観光地を巡るコースやヒルクライムコースなど、初級・中級・上級に分けて、様々なレベルのサイクリストが楽しむことができる9本のサイクリングコースを設定している。

◇各サイクリングコースでは、サイクリストがコース上で迷わないように、案内看板や路面表示などの整備を進めるとともに、戸倉上山田温泉にはサイクリングコース全体を案内する看板を設置している。一方で、近隣市町村への案内が不連続な区間があり、一部区間では舗装が劣化し走行しにくいなどの課題もある。



【千曲川サイクリングロードの路面表示】



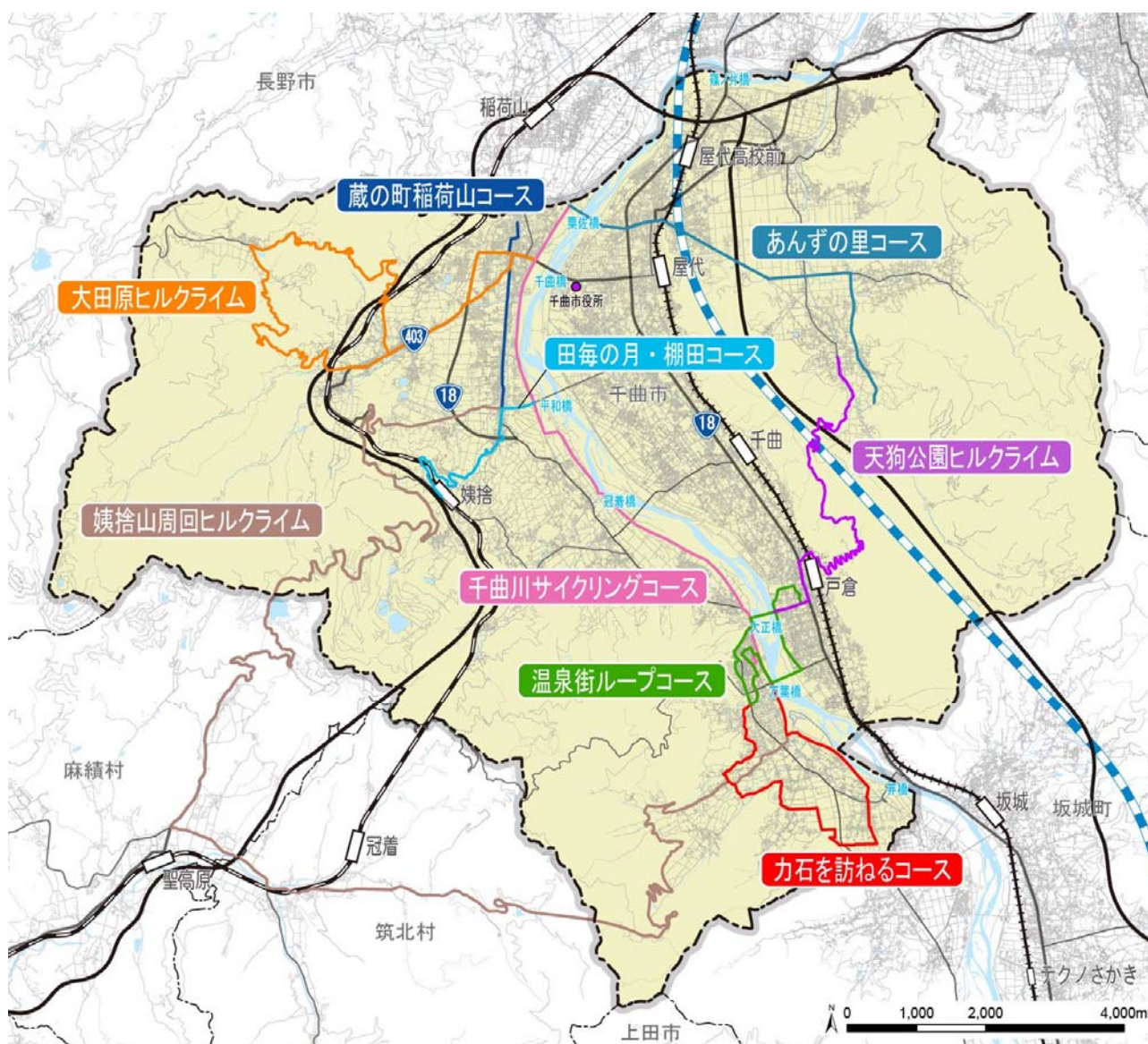
【サイクリングコースの案内看板】



【サイクリングコース全体の案内看板】



【舗装の劣化状況】



【サイクリングコース位置図】

【サイクリングコースの一覧】

	コース名	区分	距離	所要時間	消費カロリー
A	千曲川サイクリングコース	基幹	8.7km	41 分	171kcal
B	温泉街ループコース	初級	3.6km	30 分	122kcal
C	カ石を訪ねるコース	初級	9.3km	1 時間 00 分	248kcal
D	蔵の町稲荷山コース	中級	9.4km	51 分	398kcal
E	田毎の月・棚田コース	中級	9.5km	52 分	406kcal
F	あんずの里コース	中級	15.4km	1 時間 26 分	675kcal
G	天狗公園ヒルクライム	上級	10.1km	1 時間 01 分	893kcal
H	姨捨山周回ヒルクライム	上級	38.1km	4 時間 00 分	3,526kcal
I	大田原ヒルクライム	上級	33.1km	3 時間 40 分	3,231kcal
	合計		137.2km	14 時間 01 分	9,670kcal

3) サイクリングマップの作成

◇科野さらしなの里サイクリング推進委員会では、サイクリングコースをとりまとめたサイクリングマップを作成し、観光案内所や旅館などで配布している。サイクリングマップは、日本語だけでなく英語や繁体語版もあり、インバウンドの旅行客にも対応している。



【サイクリングマップ】

4) サイクリングイベントの開催

◇市内では、戸倉上山田温泉周辺をガイド付きで案内する「ずくだしエコツアー」、姨捨の棚田の坂道を駆け上がる「姨捨棚田ヒルクライム」、レトロな自転車で温泉街をポタリングする「北国街道ポタリング」など、民間が中心となり自転車関連のイベントを開催している。



【ずくだしエコツアー】



【姨捨棚田ヒルクライム】

出典：姨捨ゲストハウスなからや提供

5) サイクリストの受入環境

◇科野さらしなの里サイクリング推進委員会では、サイクリング拠点の掘り起こしを行い、「自転車の駅」として認定した上で、サイクルスタンドや自転車修理工具などを設置し、サイクリストの受入環境を整備している（令和元年度時点：4件指定済み）。



【「自転車の駅」認定看板】



【サイクルスタンド】

6) 駐輪環境・自転車通行空間の整備状況

◇本市では、しなの鉄道屋代高校前駅、屋代駅、千曲駅、戸倉駅の各駅において駐輪場を整備しており、十分な駐輪台数を確保している。また、令和元年10月からは、駐輪場の無料化を開始し、市民の自転車利用の促進を目指している。

◇国道403号の市役所前交差点付近から消防署入口交差点付近（L≒400m）には、自転車専用通行帯を整備し、自転車の車道通行を促進している。

【駐輪場の整備状況】

駐輪場	収容台数	設置年月
屋代高校前駅	332台	平成13年3月
屋代駅	637台	昭和60年3月、平成2年3月
千曲駅	160台	平成21年3月
戸倉駅	514台	平成6年1月



【国道403号の自転車専用通行帯】

7) サイクリング環境に関する実態及び意識調査

◇科野さらしなの里サイクリング推進委員会の委員及び市内外のサイクリング関係者に対して、本市のサイクリング環境の実態や課題に対するアンケート調査を実施した（回答数：10名）。また、委員会の分科会として、ワーキンググループを2回開催し、サイクリング環境の創出に向けた具体策などを議論した。主な意見や課題は、下記のとおりである。



【ワーキンググループの様子】

【アンケートやワーキンググループでの主な意見や課題】

主な意見や課題
◎千曲川サイクリングロードなどの環境整備 ・舗装が劣化している区間や案内が途切れている区間があり、近隣市町村とも繋げてほしい。 ・沿線にトイレや給水スポット、休憩施設などが少なく、案内も少ない。 ・サイクリングロードの一部は、自動車が侵入する区間もあり、自転車への配慮が足りない。 ・通行ルールやマナーを守らないサイクリストもいる。 ・長野電鉄跡地が有効に活用されていないため、サイクリングロードなどとして整備することも必要ではないか。
◎サイクリングマップ ・マップを入手できる場所が不明であり、ホームページなどでのPRが不足している。
◎サイクリング環境に関するPRが不足 ・千曲川サイクリングロードは、安全性が高く、周辺に温泉や足湯もあるがPRが不足している。善光寺や小布施、上田城、軽井沢などの周辺観光地を巡る拠点になればよい。 ・市内の他のスポーツイベント等と連携した啓蒙活動が必要である。自転車に関連するイベントを開催し、知名度を上げていくことも必要ではないか。
◎公共交通機関との連携 ・サイクリストの移動手段として、鉄道やバスの公共交通機関との連携を図るべきである。 ・駅を拠点にして、サイクリストが市内を巡ることができる環境が必要ではないか。
◎その他 ・サイクリストが駐車できる駐車場や駐車場への案内が不足している。 ・市内に自転車店が少ない。自転車故障時に応急処置ができないサイクリストへの対応を検討する必要がある。 ・ロードバイクだけでなく、マウンテンバイクやe-BIKEなど多様な自転車が楽しめる環境が必要ではないか。 ・市内にサイクリング文化が育っていない。サイクルツーリズムを盛り上げるためには市民のもてなしも必要である。

2-3. 現状と課題の整理

1) 本市の概況

項目	現状	課題
地域資源	・歴史や文化、自然に富んだ多様な観光資源が立地	・観光資源が市内に点在し、それぞれの移動が困難
交通	・道路や鉄道など広域交通の結節点として利便性が高い	・市内の周遊や駅と観光資源を繋ぐ交通が少ない状態
観光動向	・あんずの里、武水別神社、戸倉上山田温泉が観光誘客に貢献	・観光客数や温泉の入湯客数が減少傾向

2) 自転車利用環境

項目	現状	課題
交通事故	・10年間で全交通事故や自転車関連事故は減少	・千曲川サイクリングロードでは、10年間で4件の事故が発生
サイクリングコース	・推進委員会でサイクリングコースを指定、サイクリングマップを作成、配布 ・サイクリングコースに路面表示などを段階的に整備	・路面表示による連続的な案内の不足、舗装の劣化などが課題 ・ルール違反のサイクリストや自転車への配慮が足りない自動車が存在 ・長野電鉄跡地の活用方針が未定
受入環境	・民間レンタサイクルを実施中 ・サイクリング拠点を認定	・e-BIKEなどの多様な自転車が楽しめる環境が不足 ・サイクリストが無料で利用できる駐車場が不足 ・サイクリストの緊急時の対応が困難
公共交通機関との連携	・しなの鉄道各駅に駐輪場を整備	・鉄道と自転車の連携が不足
サイクリングイベント	・民間を中心に自転車を活用したイベントを開催（ずくだしエコツアー、姨捨棚田ヒルクライム、北国街道ポタリングなど）	・他のイベントと連携した啓蒙活動が必要 ・市民のサイクリングに対する理解が低い
情報発信PR	・市や県のホームページでサイクリングマップやコースの情報を発信	・サイクリングマップの活用やPRが不足

◇本市の全交通事故や自転車関連事故は減少傾向にある。一方で、戸倉上山田温泉などの入湯客数の減少も影響し、観光客が減少傾向にある。観光需要の低下が地域に与える影響は大きく、自転車の活用においても観光面の活用が喫緊の課題である。

3. 基本目標



- ◇本市は、中央部を流れる千曲川沿いは比較的平坦な地形である一方、東西を山々に囲まれていることから起伏の豊かな地形も有している。また、歴史的な街並みや温泉街などの歴史文化資源、あんずの里・棚田の景観などの田園風景といった、多彩な歴史や文化を有している。これらの地域資源をゆっくりと巡り、魅力を深く知り、発信するツールとして、移動自体を楽しむことができる「自転車」の活用は非常に有効であり、本市の地形条件は、様々なレベルの自転車利用者が楽しめる環境を有している。
- ◇これまでも千曲川サイクリングロードを活用して、官民が連携した自転車施策を実施しているが、依然として課題も多いため、本計画では、地域の喫緊の課題である観光振興を目的とした自転車の活用を推進し、地域の活性化を図る。
- ◇観光面における自転車の活用を推進するにあたって、下記のとおり基本目標を定める。また、本市のサイクリング環境に関する現状や課題を踏まえ、基本目標を実現するために下記6項目の事業を推進する。

科野さらしなの里をめぐる 賑わいのあるまちづくり

～千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムの推進～

- ・市民、民間事業者、行政、交通事業者などの関係者が連携することで、誰もが安全で快適に利用できるサイクリング環境を創出し、千曲川サイクリングロードを核としたサイクルツーリズムを推進する。

科野さらしなの里をめぐる
賑わいのあるまちづくり

1. 自転車ネットワーク路線の整備推進

2. 受入環境の整備

3. 公共交通機関との連携強化

4. 自転車関連イベントの開催

5. PRの強化

6. サイクルツーリズムに関する地域連携の推進

4. 具体施策



4-1. 自転車ネットワーク路線の整備推進

1) 自転車ネットワーク路線の整備

- ◇千曲川サイクリングロードは、上田市～坂城町～千曲市～長野市を結ぶ広域の自転車道であり、長野県が計画する Japan Alps Cycling Road の一部にも指定されている。その他にも、科野さらしなの里サイクリング推進委員会では、市内サイクリストへのヒアリングや現地調査を行い、千曲川サイクリングロードを核として、市内の主要観光地を巡る計9本のサイクリングコースを選定している。
- ◇長野電鉄屋代線跡地は、本市と長野市や須坂市をつなぎ、自動車とも分離された空間であることから、通勤通学の歩行者や自転車、サイクリング、ランニングなどにおいても重要な空間である。
- ◇上記のサイクリングコースや長野電鉄屋代線跡地の他、すでに自転車専用通行帯が整備されている路線、公共交通機関と接続するために必要な路線、その他連続性を確保すべき路線を本市の自転車ネットワーク路線として定め、重点的に安全で快適なサイクリング環境の整備を推進する。隣接する市町村と接続する広域的な自転車ネットワーク路線については、行政間で連携を図り、連続的な整備を推進する。
- ◇なお、自転車ネットワーク路線については、自転車の通勤・通学時の利用状況などを調査した上で、今後更新を検討する。
- ◇整備手法としては、本市や県で定めるサイクリングコースの路面表示や案内看板を交差点などの案内が必要な箇所に設置するとともに、舗装の補修などを行うことで、安全で快適なサイクリング環境を創出する。また、スピードの速い自動車と混在し危険な区間もあることから、地元住民や警察と協議し、交通規制の導入についても検討する。このほか、長野電鉄屋代線跡地の整備手法については、想定する利用者や近隣市との連続性を踏まえて、別途検討するものとする。

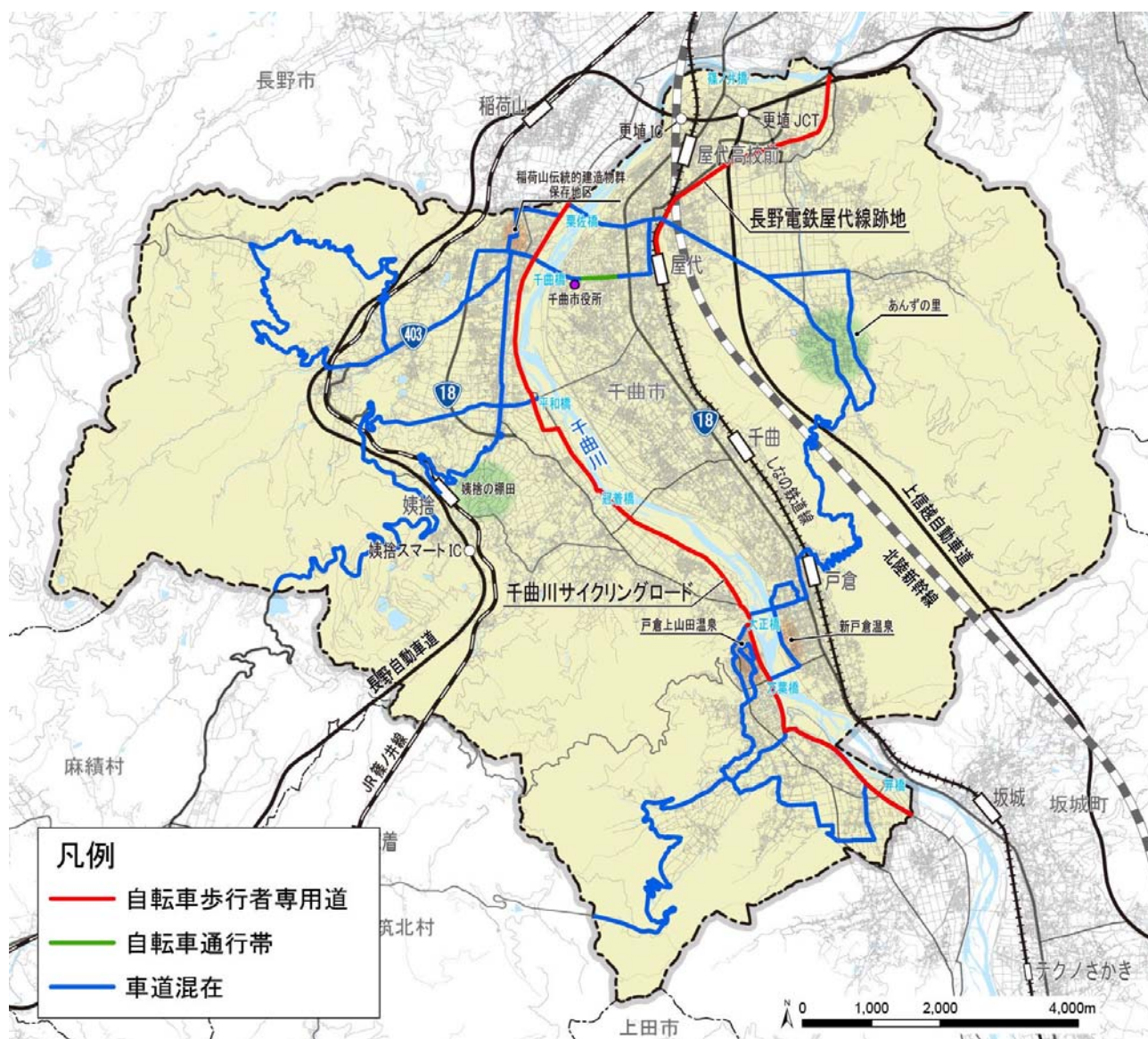
Chikuma River Cycling



【サイクリングコースの路面表示】



【Japan Alps Cycling Road の案内看板】



【千曲市自転車ネットワーク路線】

【千曲市自転車ネットワーク路線 一覧】

No	路線名	管理者	No	路線名	管理者
1	一般国道 18 号	国土交通省	43	市道 1 号	千曲市
2	一般国道 403 号	長野県	44	市道 1-8 号	千曲市
3	一般県道屋代停線	長野県	45	市道 1-13 号	千曲市
4	一般県道小峰稲荷山線	長野県	46	市道 2-1 号	千曲市
5	一般県道上田千曲長野自転車道線	長野県	47	市道 2-2 号	千曲市
6	一般県道森篠ノ井線	長野県	48	市道 2-11 号	千曲市
7	一般県道聖高原千曲線	長野県	49	市道 5 号	千曲市
8	一般県道白石千曲線	長野県	50	市道 306 号	千曲市
9	一般県道姨捨停線	長野県	51	市道 366 号	千曲市
10	主要地方道大町麻績インター千曲線	長野県	52	市道 380 号	千曲市
11	主要地方道長野上田線	長野県	53	市道 381 号	千曲市
12	市道 A-01 号	千曲市	54	市道 383 号	千曲市
13	市道 A-05 号	千曲市	55	市道 436 号	千曲市
14	市道 A-07 号	千曲市	56	市道 449 号	千曲市
15	市道 A-08 号	千曲市	57	市道 3050 号	千曲市
16	市道 B-02 号	千曲市	58	市道 3110 号	千曲市
17	市道 B-06 号	千曲市	59	市道 6030 号	千曲市
18	市道 B-07 号	千曲市	60	市道 6070 号	千曲市
19	市道 1-C-001 号	千曲市	61	市道 6110 号	千曲市
20	市道 1-C-002 号	千曲市	62	市道 6150 号	千曲市
21	市道 1-C-011 号	千曲市	63	市道 6151 号	千曲市
22	市道 1-C-022 号	千曲市	64	市道 6162 号	千曲市
23	市道 1-C-030 号	千曲市	65	市道 6167 号	千曲市
24	市道 1-C-051 号	千曲市	66	市道 7004 号	千曲市
25	市道 2-C-001 号	千曲市	67	市道 7023 号	千曲市
26	市道 2-C-010 号	千曲市	68	市道 7049 号	千曲市
27	市道 2-C-013 号	千曲市	69	市道 7110 号	千曲市
28	市道 3-C-007 号	千曲市	70	市道 7115 号	千曲市
29	市道 3-C-042 号	千曲市	71	市道 7284 号	千曲市
30	市道 3-C-044 号	千曲市	72	市道 7290 号	千曲市
31	市道 4-C-034 号	千曲市	73	市道 7295 号	千曲市
32	市道 4-C-039 号	千曲市	74	市道 8050 号	千曲市
33	市道 5-C-005 号	千曲市	75	市道 8056 号	千曲市
34	市道 5-C-006 号	千曲市	76	市道 8070 号	千曲市
35	市道 6-C-025 号	千曲市	77	市道 9485 号	千曲市
36	市道 6-C-030 号	千曲市	78	農道 118 号	千曲市
37	市道 7-C-004 号	千曲市	79	林道宮坂支線	千曲市
38	市道 7-C-013 号	千曲市	80	林道古家線	千曲市
39	市道 7-C-019 号	千曲市	81	林道北山線	千曲市
40	市道 7-C-023 号	千曲市	82	用水管理用道路	六ヶ郷用水組合
41	市道 7-C-024 号	千曲市	83	長野電鉄屋代線跡地	千曲市
42	市道 7-C-044 号	千曲市			

2) 多様な自転車が楽しめるコースの整備

◇本市の自然豊かな環境を活かし、幅広い年齢の自転車利用者や多様な自転車が楽しめるコース整備に向け、既存施設の活用も含めた整備候補地の選定、整備を実施していく。



【鉄道跡地の活用例（長野市）】



【マウンテンバイクパーク（大町市）】

出典：国営アルプスあづみの公園より提供

【「自転車ネットワーク路線の整備推進」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) 自転車ネットワーク路線の整備	★		○	○	■■■■	■■■■	■■■■
2) 多様な自転車が楽しめるコースの整備	★	○	○	○		■■■■	■■■■

4－2．受入環境の整備

1) レンタサイクルの実施

◇民間事業者や観光事業者と連携し、千曲市内外を周遊することができるレンタサイクルやシェアサイクルの実施を検討する。レンタサイクルやシェアサイクルの実施にあたっては、スポーツ用電動アシスト車（e-BIKE）やマウンテンバイクなど、多様な利用者が多様な目的で利用することができる車種の選定を支援する。

2) サイクリング拠点の認定・整備

◇サイクリング拠点である「自転車の駅」について、サイクリングルートに沿線の商業施設や宿泊施設、公共施設などの協力を得て認定していくとともに、サイクルスタンドや自転車修理工具、据付式の空気入れなどの設置を支援する。



【信越自然郷アクティブセンター（飯山市）】



【e-BIKE のレンタサイクル（飯山市）】

3) サイクリスト駐車場の整備

◇自家用車に自転車を積み、駐車場で自転車を組み立て、千曲市内をサイクリングするサイクリストのために、公営駐車場の整備を行う。また、日帰り温泉や旅館などを利用した場合などに、無料で利用できる駐車場の整備を支援する。

4) サイクルレスキューの体制構築

◇自転車の故障などで走行困難になった場合の救護体制として、自転車店や自転車関連団体などと連携し、簡単な修理や搬送などに対応できる体制構築を支援する。また、体制構築にあたっては、広域的な連携が不可欠となることから、長野県の Japan Alps Cycling プロジェクトとも連携を図る。

◇「自転車の駅」のスタッフを対象とした自転車点検講習会を開催し、パンクなどの簡易な修理に対応できる体制を整え、サイクリストのサポート施設としての機能を更に充実させる。



【しまなみ島走レスキュー（愛媛県）】

出典：NPO 法人シクロツーリズムしまなみより提供

【「受入環境の整備」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) レンタサイクルの実施	○	★	★	○	■■■■	■■■■	
2) サイクリング拠点の認定・整備	★	○	○	○	■■■■	■■■■	■■■■
3) サイクリスト駐車場の整備	★	★	○	○	■■■■	■■■■	
4) サイクルレスキューの体制構築	○	★	○	○		■■■■	■■■■

4－3．公共交通機関との連携強化

1) 鉄道駅のサイクリング拠点化

◇鉄道は、手軽に広域のサイクリングを楽しむ上で重要な交通手段となる。長野市や上田市、軽井沢町、松本市など周辺市町村との連携を図り、誘客を強化するために、鉄道事業者との連携を図り、サイクルスタンドや自転車組立スペース、レンタサイクル、ガイドツアー、手荷物預け・配送サービスなどが整備された鉄道駅のサイクリング拠点化を目指す。

◇また、行きは長野駅から姨捨駅まで輪行し、姨捨の棚田を下り、稲荷山やあんずの里、戸倉上山田温泉を巡り、帰りは戸倉駅から輪行するコースなど、公共交通機関を活かしたサイクリングの楽しみを開拓し、情報を発信する。

2) サイクルトレインの運行

◇鉄道事業者と連携し、サイクルトレインの運行を目指す。また、自転車の持ち込みにおいて支障となる、駅構内の段差の解消などについても支援する。

3) サイクルバスの運行

◇バス事業者と連携し、市内を運行する循環バスにおいて、利用ニーズや課題を把握した上で、サイクルバスを運行する。



【米原駅サイクルステーション（米原市）】



【自転車組立場（尾道市）】

【「公共交通機関との連携強化」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) 鉄道駅のサイクリング拠点化	★	★	○	○	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■
2) サイクルトレインの運行	○	★		○	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■
3) サイクルバスの運行	★	○		○		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■

4-4. 自転車関連イベントの開催

1) 地域資源を活かした自転車関連イベントの開催

◇民間事業者や観光事業者と連携し、本市や周辺市町村の魅力的な地域資源をつなぎ、発信する自転車関連イベントを開催する。また、戸倉上山田温泉だけでなく、姨捨の棚田・稲荷山・あんずの里の各地において、ガイド付きサイクリングツアーを開催する。

2) 市民を対象とした自転車関連イベントの開催

◇市民が自転車を楽しむきっかけを作り、通勤通学やレジャーなどでの自転車利用を促進するために、千曲ランなどの各種スポーツイベントとの連携を図ることで、市民を対象とした自転車関連イベントを開催する。



【千曲サイクリングイヤーのサイクリング】

【「自転車関連イベントの開催」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) 地域資源を活かした 自転車関連イベントの開催	★	★	★	○	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■
2) 市民を対象とした 自転車関連イベントの開催	★	★	○	○	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■

4－5．PR の強化

1) サイクリングマップの活用

◇科野さらしなの里サイクリング推進委員会で作成したサイクリングマップを有効活用するために、宿泊施設や公共施設、道の駅などサイクリストが立ち寄る施設にマップを設置する。また、サイクリングルートスマートフォンなどで閲覧することができるように、民間のサイクリングルート共有サイトなどを活用して、情報発信を目指す。

2) ポータルサイトの整備・充実

◇市内のサイクリングルートや自転車の駅、おすすめスポットなどのサイクリングに役立つ情報を発信するとともに、サイクリングのルールを周知啓発するためにポータルサイトを整備し、定期的に情報の更新を行う。情報発信に際しては、長野県の Japan Alps Cycling プロジェクトとの連携を図るなど、より幅広い層に訴求する手法を取り入れる。



【科野さらしなの里サイクリングのポータルサイトイメージ】

【「PR の強化」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) サイクリングマップの活用	★	○	○	○	■■■■	■■■■	■■■■
2) ポータルサイトの整備・充実	★	○	★	○	■■■■	■■■■	■■■■

4-6. サイクルツーリズムに関する地域連携の推進

1) 先行事例の活用

◇県内でサイクルツーリズムの促進に取り組む白馬村や伊那市、飯山市などの市町村の取組を調査するとともに、ナショナルサイクルルートに指定される3ルート（つくば霞ヶ浦りんりんロード、ビワイチ、しまなみ海道サイクリングロード）などを全国的な先進事例として調査し、本市のサイクルツーリズムの促進に活かす。

2) 他地域とのネットワークづくりの推進

◇国内外からの誘客を促進するためには、サイクルツーリズムの広域連携が不可欠であることから、県内市町村や県外都市との連携を図り、サイクルツーリズムに関する都市間のネットワークづくりを推進する。



【しまなみ海道サイクリングロード（尾道市）】



【プレイアトレ（土浦市）】

【「サイクルツーリズムに関する地域連携の推進」の取組主体と実施スケジュール】

施策	取組主体（★主担当、○関係者）				実施スケジュール		
	行政	民間	観光事業者	市民	短期 (R2～R4)	中期 (～R8)	長期 (R9～)
1) 先行事例の活用	★	○	○		■■■■	■■■■	■■■■
2) 他地域とのネットワークづくりの推進	★	○	○		■■■■	■■■■	■■■■

5. 推進体制・目標指標



5-1. 推進体制

◇本計画の目標達成に向け、市民・民間事業者（旅館、公共交通事業者など）・観光事業者（信州千曲観光局など）・行政が連携して、計画の推進を図る。

◇計画の進捗や目標指標については、定期的を開催する「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」や、次年度設置を予定する「（仮称）千曲市自転車活用推進協議会」において、計画の策定（Plan）、施策・事業の実施（Do）、目標指標の確認・施策・事業の見直し（Check）、課題への対応（Action）のPDCAサイクルを実施することで、計画の着実な推進を図る。

5-2. 目標指標

◇計画の達成状況をフォローアップするために、下表のとおり目標指標を定める。目標年は、計画期間の最終年である令和8（2026）年度とするが、計画の進捗は毎年フォローアップを行い、適宜指標や数値の見直しを検討する。

【目標指標】

指標名	基準値 (年度)	目標値 (R8年度)	指標選定の考え方
サイクリングコースの 整備本数	2本 (R1)	9本	・「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」が 指定するサイクリングコースにおいて、案内看 板や路面表示を設置したコースの本数 ・サイクリング環境の整備状況を表す
長野電鉄屋代線跡地の 整備延長	0km (R1)	2.0km	・長野電鉄屋代線跡地を活用した整備延長 ・サイクリング環境の整備状況を表す
交流人口	186万人 (H30)	200万人	・賑わいのあるまちを創出する取組状況を表す
自転車の駅の認定件数	4件 (R1)	25件	・「科野さらしなの里サイクリング推進委員会」が 指定する「自転車の駅」の累計認定件数 ・サイクリングサポート施設の充実状況を表す
自転車関連イベントの 開催件数	2件/年 (R1)	6件/年	・自転車の利用促進に寄与するサイクリングイベ ントやフォーラムなど、市が主催もしくは共催 する自転車関連イベントの年間開催件数 ・自転車を活用した賑わいのあるまちを創出する 取組状況を表す

千曲市自転車活用推進計画

発 行：令和2年3月

発行者：千曲市建設部建設課

千曲市杭瀬下二丁目1番地